

事業マネジメント研修 モデルカリキュラム

1日目	時間(分)		内容	期待される成果	形式
11:50	12:00	10	研修の内容と構成の説明、講師の紹介	研修目的や研修の流れを理解する。	講義
12:00	12:40	40	PCM計画立案概論・関係者分析・問題分析	PCM手法の全体像と計画立案プロセスを理解する。	講義
12:40	13:40	60	昼食		
13:40	14:50	70	目的分析・プロジェクトの選択・PDM作成	PDMの作成プロセスの理解し、PCM初学者と既習者の理解の足並みを揃えることと、翌日の演習（WBSなどモニタリングツール）の理解のためのブリッジングを行う。	講義
14:50	17:30	160	PDM作成		演習
2日目	時間(分)		内容	期待される成果	形式
9:30	10:45	75	PDMの精査（教訓活用）	ナレッジ教訓をPDMに反映する。	講義/ 演習
10:45	11:15	30	PCMモニタリング （概論・進捗モニタリング）	PDMの論理性や指標の見方を理解する。 プロジェクトの開始・赴任後に行う運営・管理作業と、モニタリングシステムの作成について理解する。	講義
11:15	12:30	75	WBSの作成	WBSを用いて、プロジェクトの全作業を詳細化できる。	演習
12:30	13:30	60	昼食		
13:30	14:30	60	WBSの作成 続き スケジュールの作成	必要な作業量・期間とスケジュールを設定できる。	演習
14:30	15:00	30	発表・グループ内シェアリング	発表・議論を通じて、プロジェクト全体のモニタリング計画を理解する。	全体
15:00	15:30	30	リスクモニタリング	達成度やリスクの管理方法、活動計画の修正方法を理解する。リスクを洗い出し、必要な対策とその実施のタイミングを設定できる。	講義
15:30	16:30	60	リスクモニタリング		演習
16:30	17:00	30	成果管理	成果管理の内容・手法を理解する。	講義
17:00	17:30	30	進捗確認に基づく計画修正	実績と計画の差を確認し、原因と対策を考え、計画修正ができる。	講義
3日目	時間(分)		内容	期待される成果	形式
9:30	10:30	60	進捗確認に基づく計画修正	実績と計画の差を確認し、原因と対策を考え、計画修正ができる。	講義
10:30	11:30	60	PDM改訂 （指標の設定や成果・活動などの精査）	指標設定を含め、PDMの問題点と改善方法とタイミングを提案できる。	演習
11:30	12:00	30	プロジェクトモニタリングシートの紹介	実際にプロジェクト管理で作成する資料について理解する。	講義
12:00	13:00	60	昼食		
			PCM手法に基づく評価	評価の目的、評価5項目、評価作業のやり方を理解する。	講義

13:00	14:15	75	評価グリッドの作成・事実の確認、評価項目別の分析・判断 総合結論 提言・教訓	評価調査計画の作成方法を理解し、評価グリッドに基づいた情報収集方法を学ぶ。 評価調査計画の作成方法を理解する。 評価グリッドに基づいた情報収集方法を学ぶ。 評価5項目の価値判断と要因分析のやり方を理解する。	演習
14:15	14:55	40	評価グリッドの作成	評価調査計画の作成方法を理解する。 評価グリッドに基づいた情報収集方法を学ぶ。	演習
14:55	16:15	80	評価項目別の分析・判断、要因分析	分析等の手法を理解し、実践する。	演習
16:15	16:45	30	グループ内シェアリング	グループで作成した完了報告書について、発表と議論を通じて、理解を深める。	演習
16:45	17:10	25	提言・教訓の抽出	プロジェクトの発展的終了と上位目標への到達に向けて、出口戦略とCP機関にプロジェクトを引き継ぐ際の留意事項について理解する。	演習
17:10	17:30	20	質疑応答	理解の促進と定着を図る。	講義